

ABLENETストレージ導入マニュアル

2025年10月

【一般利用者用】

目次

1.	はじめに	2
2.	初めてサービスを利用するユーザーのパスワード登録	2
3.	ブラウザによるWeb管理画面へのログイン	3
4.	Windows OS 向けクライアントのインストール	4
5.	エクスプローラーでの利用方法	5
6.	Web管理画面による共有フォルダーの操作方法	11
7.	パブリックリンクの作成方法	12
8.	モバイルアプリのインストール	16

[巻末：ABLENETストレージご利用時の注意点](#)

1. はじめに

このドキュメントは、ABLENETストレージをご利用されるユーザー様向けに提供するものです。説明を通じて、基本的なABLENETストレージサービスの利用法をご紹介します。また、「巻末：ABLENETストレージご利用時の注意点」において陥りやすい問題とその回避策を説明しますので特にご考慮ください。

記載の説明図・文は、システムの機能向上・改善により、実際の管理画面と異なることがあります。

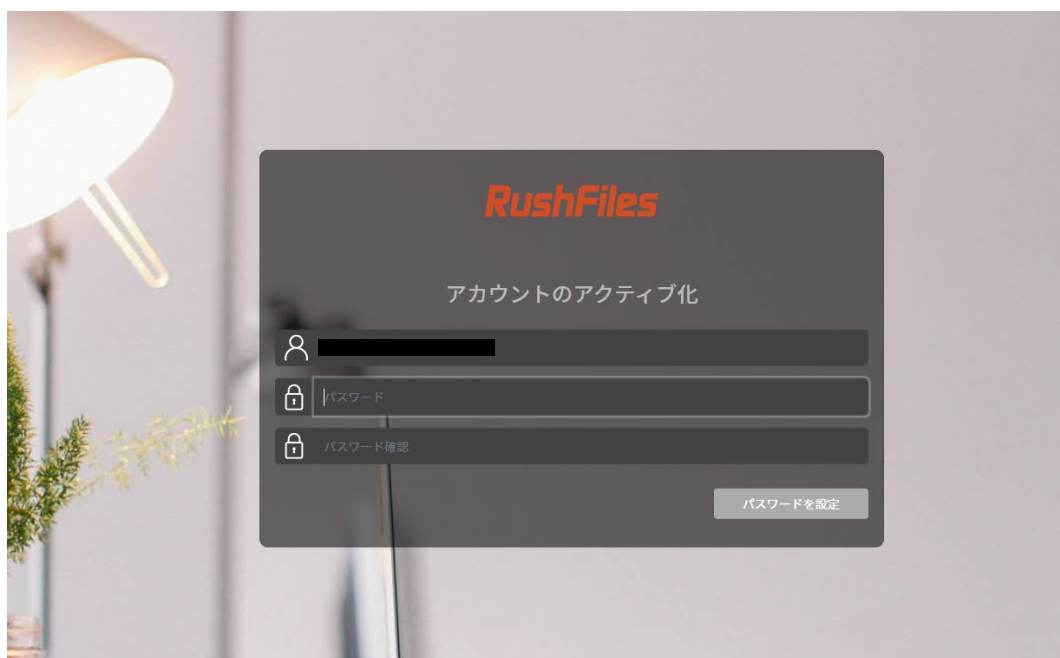
ドキュメントの適宜改善を行っておりますが、操作手順が不明な場合、恐れ入りますが、ABLENETサポート（<https://www.ablenet.jp/storage/support/>）までお問い合わせください。

2. 初めてサービスを利用するユーザーのパスワード登録

本サービスを始めて利用するユーザーは、利用開始時に「ユーザー登録招待」メールを受信します。指示通りに従って、サービス利用に関わるご自身のパスワードを登録しましょう。

招待メールが届きましたら、メール内容に示す「パスワードの設定」をクリックします。

メールのリンクは **24 時間経過の後に無効となります**。ご注意ください。無効となる場合、再度招待メールの送信をサービス管理者にご依頼ください。



ボタンをクリックすると、ブラウザでパスワード設定画面が開きます。

設定したいパスワードを2度入力ください。「パスワードを設定」をクリックして設定完了です。

次の点をご考慮ください。

※パスワードは、半角英数字、8文字以上で4種類以上の異なる文字、且つ、大文字・小文字・数字が

全て含まれている必要があります。但し、サービス販売元に応じてパスワードルールが異なる場合があります。

※各ボタンは一度だけクリックしてください。正しく処理がされずパスワード設定ができなくなる場合がありますのでご注意ください。



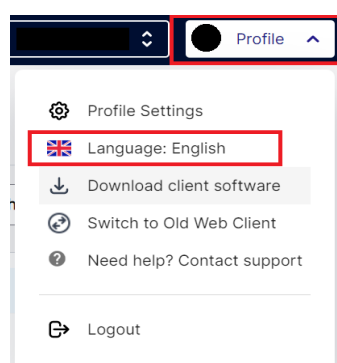
3. ブラウザによる Web 管理画面へのログイン

パスワード設定が済みましたら、サービスを管理するためのWeb 管理画面にアクセスしましょう。サービス提供元から提示される URL にアクセスしてください。ログインにはお客様のメールアドレス、先ほど登録したパスワードが必要です。

<https://ablenet.rushfiles.jp>

ログイン後、Web 管理画面が表示されます。なお、アクセスした際に位置情報へのアクセス許可を求められる場合があります。拒否しても問題ありませんが、ログイン後のデバイスの国名を表示するために用いられます。

初期ログイン時のメッセージが英語の場合、言語を日本語に選択します。画面右上「Profile」をクリックし、「Language : English」 - 「日本語」を選びましょう。



4. Windows OS 向けクライアントのインストール

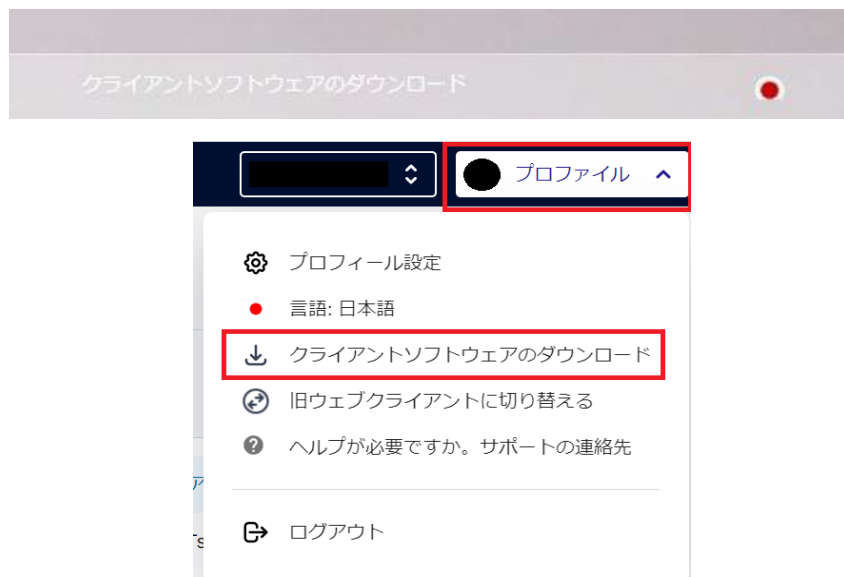
Windows OS のエクスプローラーからサービスを利用する場合は、専用のクライアントをインストールする必要があります。

MacOS へのインストールについては、[こちら](#)をご参照ください。

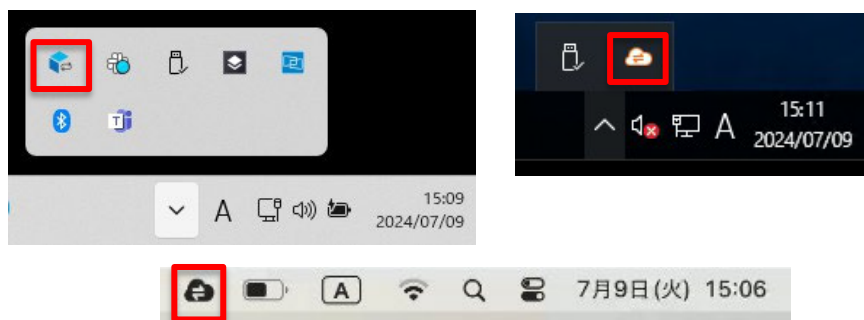
早速 Windows OS 向けクライアントのインストールを進めましょう。

インストーラーは Web 管理画面から入手できます。ログイン前であれば、画面右下「クライアントソフトウェアのダウンロード」、または、ログイン後の右上「プロフィール」 - 「クライアントソフトウェアのダウンロード」を選択ください。インストーラー名は、FileBox_Installer.exe（ABLENETストレージ-FileBox）、もしくは、RF_Installer.exe（RushFiles）です。サービス販売元に応じて異なりますが、共に同じ機能を持つクライアントインストーラが提供されます。ご安心ください。

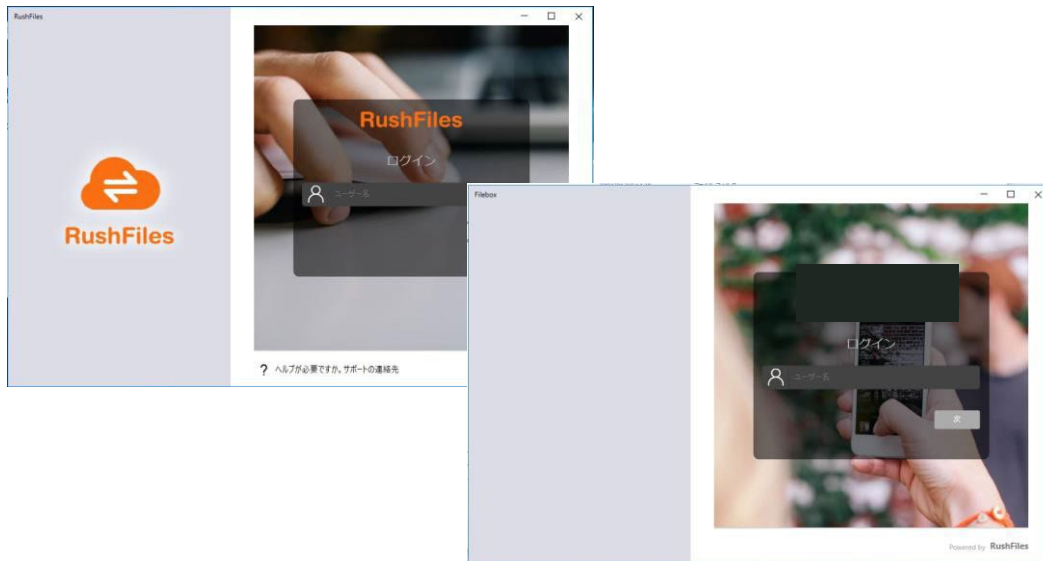
手元に用意したインストーラーを起動し、指示に従ってインストール作業を終わめしょう。実施時に Windows OS の管理者権限が必要です。



インストール後は、Windows の場合、ウィンドウの右下のタスクバーに専用のアイコンが表示されます。Mac の場合、ウィンドウの上に表示されます。現れない場合、インストール済みアプリケーションを選択して起動してください。



クライアント上に表示されるログイン画面に、アカウント情報- メールアドレス、パスワードを入力してログインしてください。画面が表示されていない場合、先のアイコンを選択してみましょう。



ログイン後に現在権限を持っている共有フォルダーの一覧が表示されます。デフォルトの状態ではアカウントのホームフォルダーのみ表示されます。

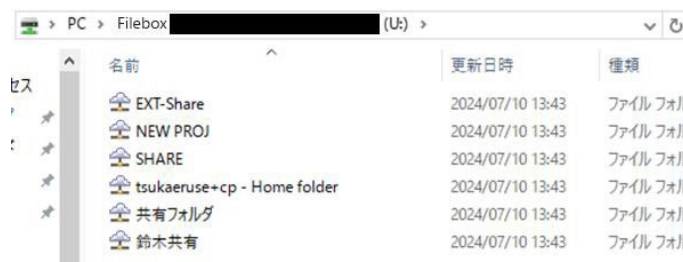


5. エクスプローラーでの利用方法

Windows OS 付属のエクスプローラーを使って共有フォルダー内のファイル进行操作しましょう。



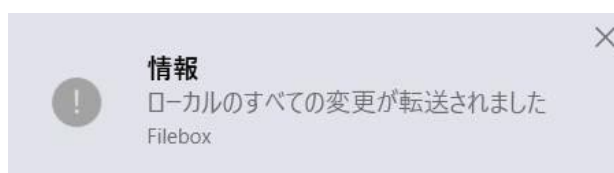
エクスプローラーを起動して [PC] - [U:] ドライブを選択します。[U:] ドライブのラベルには、FileBox（ABLENETストレージ）もしくは、RushFiles と表示されます。では、[C:] ドライブのフォルダー・ファイル同様に、各種ファイル操作を試してみましょう。



[U:] ドライブ内のフォルダー・ファイルを参照するにあたり、以下の内容を十分ご理解ください。
[C:] ドライブ に格納されたファイルを[U:] ドライブにコピーすることは、インターネット先のファイル箱サーバーに格納することを意味します。[U:] ドライブ上にファイル名が見え、まだ PC に実ファイルとして格納（キャッシュ）されていないファイルにアクセスする場合、インターネット先の ABLENETストレージサーバーからファイル入手、PC にファイルを格納（キャッシュ）します。そして、あたかも PC に初めから格納されていたファイルのように各種操作が可能となります。

[U:] ドライブへのファイルアクセスは、インターネットを超えて、時間経過と共に、ファイルの送信・受信して、キャッシュしたファイルが利用できる、もしくは、サーバーに格納して複数ユーザー間でファイル共有できるものとなります。そのため、お手元の PC の[U:] ドライブにファイルが見えるからといって、瞬時にファイルを開くことができる、別のユーザーにファイル共有できているということを保証するではありません。詳しくは「巻末：ABLENETストレージご利用時の注意点」をご確認ください。

また、[U:] ドライブを通じた各種ファイル操作結果は、デスクトップ画面右下トースターメッセージとして表示されます。設定変更によって通知を禁止することも可能です。



（注意）[U:] ドライブの容量表示につきまして

本サービスは、ABLENETストレージサーバーにあるファイル群を仮想的に表示し、必要に応じてクライアント側に提供するものです。そのため、エクスプローラー、クライアントで示す [U:] ドライブの総ファイル量は、実際にサービスに格納される総ファイル容量と異なります。

MacOS 向けクライアントのインストール

WindowsOS へのインストールについては、[こちら](#)をご参照ください。

Mac版PCクライアントは以下の手順でご利用いただけます。

1. App storeより「filebox」と検索していただき、アプリケーションをインストールします。
※もしくは以下より直接App Storeページにアクセスができます。

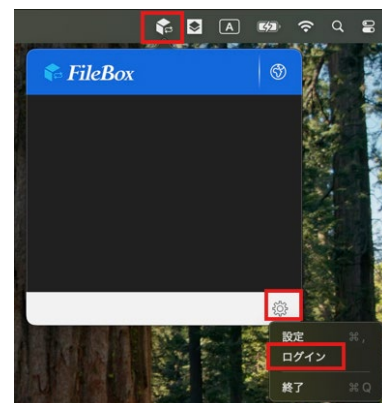
<https://apps.apple.com/jp/app/filebox/id1612815888?mt=12>



※バージョン3.0.0 より前のバージョンをご使用している場合は、まず古いバージョンをアプリケーションからゴミ箱に移動してアンインストールする必要があります。事前にアンインストールされませんと、新しいアプリケーションでログインできなくなる場合がございます。

2. インストールが終わると、右上隅のメニューバーにFile boxアイコンが表示されます。

File box アイコンをクリック > 歯車アイコンをクリック > ログイン をクリックします。

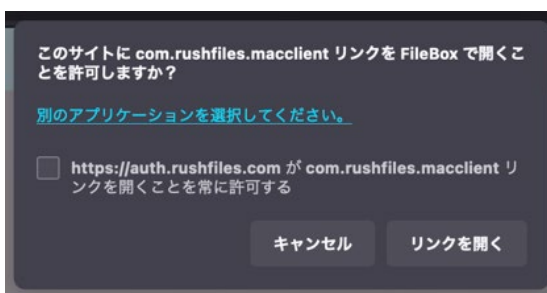


3. 以下のように規定のブラウザよりアクセス許可のポップアップが表示されますので承認します。

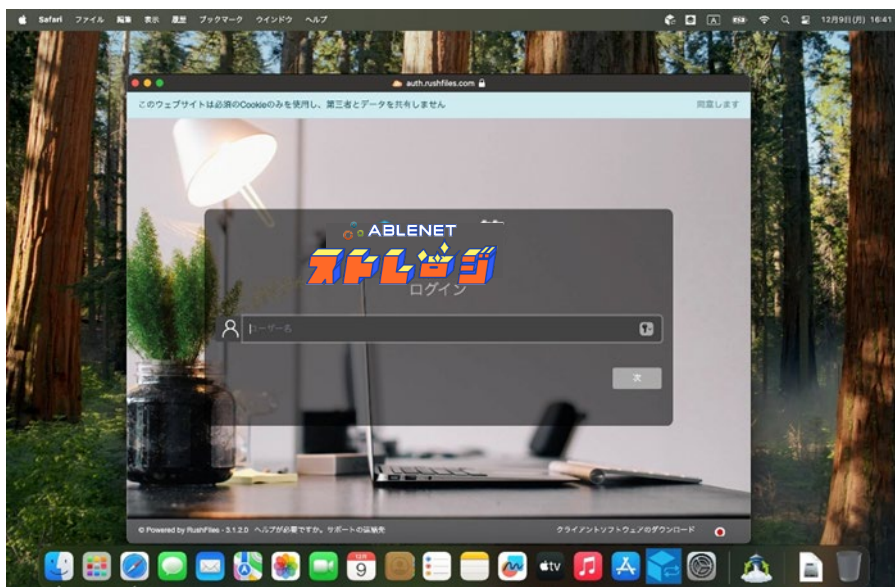
▼Safariの場合：「続ける」を選択します。



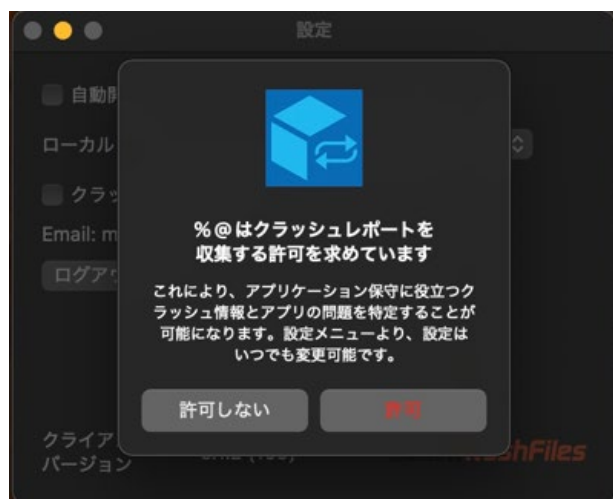
▼Chromeの場合：メッセージ中段のチェックマークを入れ、「リンクを開く」をクリックします。



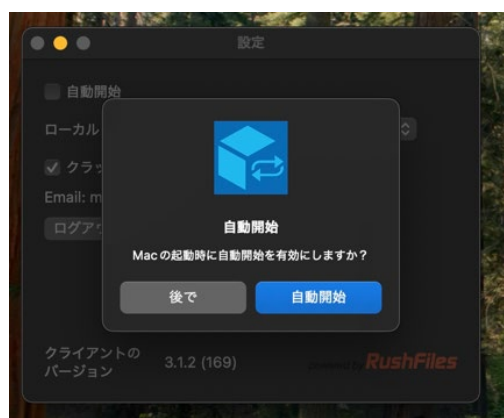
4. ファイル箱ログイン画面が開きますので、ログイン情報を入力し、ログインします。



4. クラッシュレポートの収集を有効または無効にする画面が表示されます。
万が一トラブルがあった際に、問題の原因/修正に役立ちますので、有効にしてください。



5. 自動開始を有効にしますと、Mac起動時、自動でMacクライアントが起動しFinder上にFileboxが現れるようになりますので、有効にいただくことを推奨します。



6. 設定メニューは閉じて構いません。

*ローカルファイルを保持する:ファイル箱内にあるファイルをダウンロードした時に保存されるキャッシュデータをローカル(Mac)に保存する期間を設定できます。

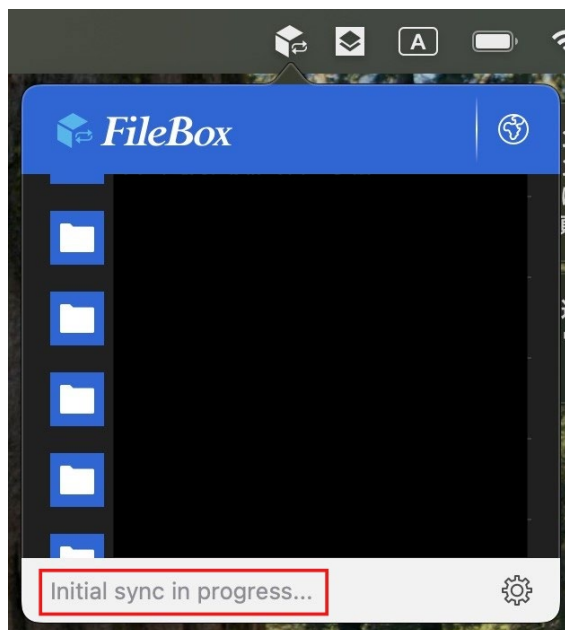
但し、ローカルディスクの空き容量が不足している場合、macOSが自動でキャッシュを削除することがあります。

この時自動で削除されるキャッシュは、MacOSによって決定されます。



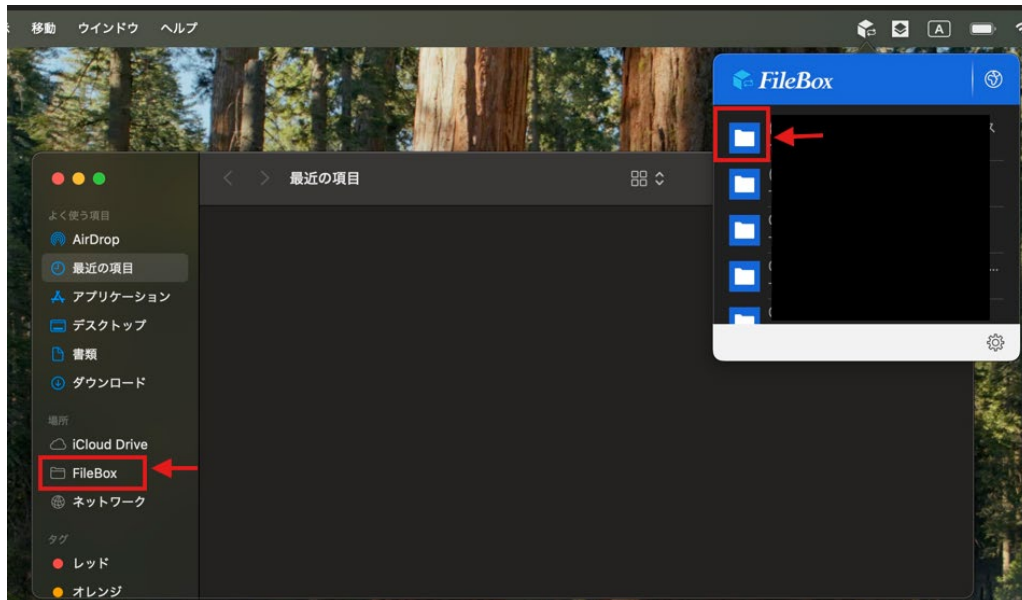
7. Initial sync in progress...

このステータスが表示されている間は、ファイル箱とMacクライアントアプリケーションが同期中です。
Mac起動時やログイン時に表示されます。同期の完了までお待ちください。※数十分かかる場合があります。



6.同期が完了すると、Finder上にFileBoxが表示されます。

Macクライアントを起動しフォルダアイコンをクリックしていただくか、
FinderのFileboxをクリックしていただくとファイル箱のデータを閲覧・編集可能となります。



※Finder上でFileBoxを開いた時、アクセスの許可を求められる場合がありますが有効にしてください。
このアクセス許可は一度有効にすると、再インストールしない限り表示されません

※バージョン 3.0.0 以降では、ローカルで共有フォルダ名を変更することはできなくなりました。
共有フォルダ名を変更したい場合は、ウェブクライアント (cloudfile.jp または filescloud.jp) より編集可能です。

6. Web 管理画面による共有フォルダーの操作方法

ブラウザでWeb 管理画面にログインし、ユーザー権限で共有フォルダーを参照、作成、ファイルのアップロード等をする手順について紹介します。前提として、ユーザーに適切な権限 - 共有フォルダーの作成、フォルダーへのアクセス権限等が割り当てられているものとします。

<共有フォルダーの確認方法>

Web 管理画面で共有フォルダーを確認するには、ログイン後に「共有リスト」をクリックします。



<新規共有フォルダーの作成方法>

「共有リスト」を開き、画面右上「新規共有を作成する」をクリックします。



共有名を入力し、保存します。

新規共有を作成する

×

共有の対象となる会社を選択してください。

株式会社

✓

共有名

保存

<ファイルのアップロード方法>

Web 管理画面からファイルをアップロードすることができます。アップロードしたファイルは [U:] ドライブから共有されます。

Web 管理画面「共有フォルダー」上でアップロード先となるフォルダーに進んでいきます。画面右上「複数のファイルをアップロード」をクリックします。指示に従って、ファイルのアップロードを試みましょう。



ファイルの追加後、「完了」ボタンをクリックして作業完了です。

(注意) 格納できないファイルの存在について
以下のファイルタイプはABLENETストレージに格納することができません。サイズが 0 バイトのファイル

- 拡張子が".tmp"のファイル (例: ファイル名が"example.tmp")
- ファイル名の先頭に~(チルダ)がついているファイル (例: ファイル名が"~example.do c")
- 隠しファイル

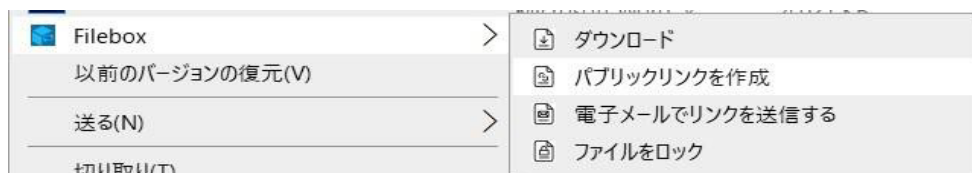
7. パブリックリンクの作成方法

ABLENETストレージサービスに格納するファイル・フォルダーをサービス外のユーザーに提供したい場合、パブリックリンク機能を活用しましょう。パブリックリンクと呼ばれる、特定フォルダー・ファイルをダウンロードできる URL を作成し、相手先ユーザーに提供可能となります。パブリックリンクを作成するユーザーは所有者・編集者の権限が必要です。ビューア権限では作成できません。

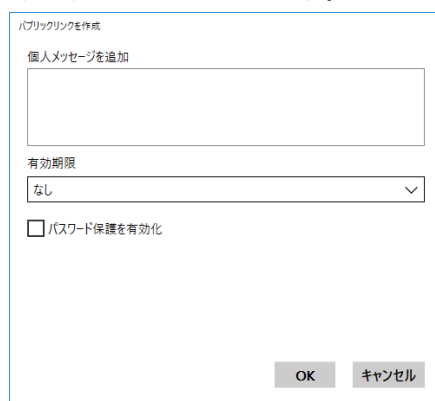
<エクスプローラーからの作成>

[U:]ドライブ内の、共有を要望するフォルダー、もしくはファイルを選択します。対象を右クリック、「Filebox (もしくはRushFiles)」>「パブリックリンクを作成する」、もしくは「電子メールでリンクを送信する」を選びましょう。右クリック後に適切な選択先が見つからない場合、「その他のオプションを確認」に進んでください。「パブリックリンクを作成する」の作業が完了すれば、

パブリックリンクとなる URL がクリップボードにコピーされます。メールの文面やチャットメッセージ等に張り付けて、共有対象となるユーザーに提示しましょう。“電子メールでリンクを送信する”を選択すると、ご利用のメールアプリケーションが起動し、パブリックリンクが新規メール文として現れます。



表示される説明項目に必要なとする設定を適用しましょう。

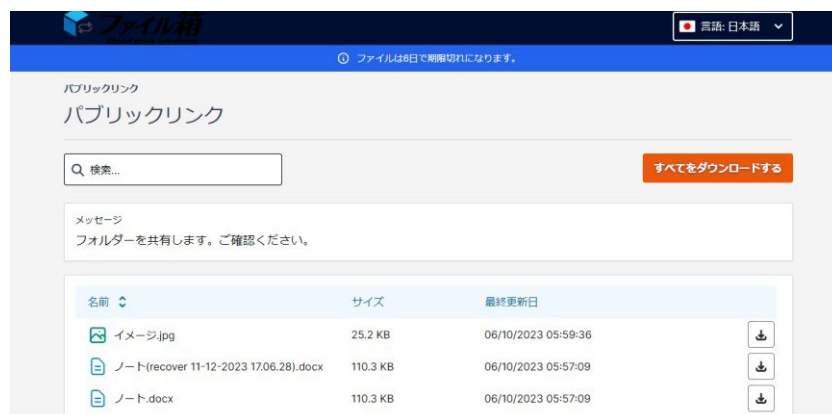


- 個人メッセージを追加：パブリックリンクのページに記載するメッセージを登録できます。
- 有効期限：パブリックリンクの有効期限を設定します。期限なしから最大 60 日の期間を設定可能です。
- パスワード保護を有効：チェックして、希望するパスワードを登録すると、パブリックリンクのページを開くためのパスワードを登録できます。

ご利用中のサービスにアドバンス機能が含まれる場合、高度な共有リンク設定 - ダウンロード回数制限、リンク先にアクセスできる宛先を指定、閲覧のみ／ダウンロードのみの指定も可能になります。



それでは、作成されたパブリックリンクをブラウザで開いてみましょう。一度Web管理画面からログアウトしたブラウザで試してください。事前に選択したフォルダー・ファイルがブラウザから参照できます。



ブラウザ内で個々のファイルをプレビューすることも可能です。プレビューできるファイルサイズは20MBまで、扱えるファイルタイプは次の通りです。

- Office ファイル (Word, Excel, PowerPoint)
- txt ファイル
- Image ファイル
- PDF ファイル

(注意) 共有するフォルダー・ファイルは、事前にABLENETストレージサーバーに確実に格納されていることをご確認ください。転送途中、まだ未格納の場合、パブリックリンクのページは正しく表示されない場合があります。

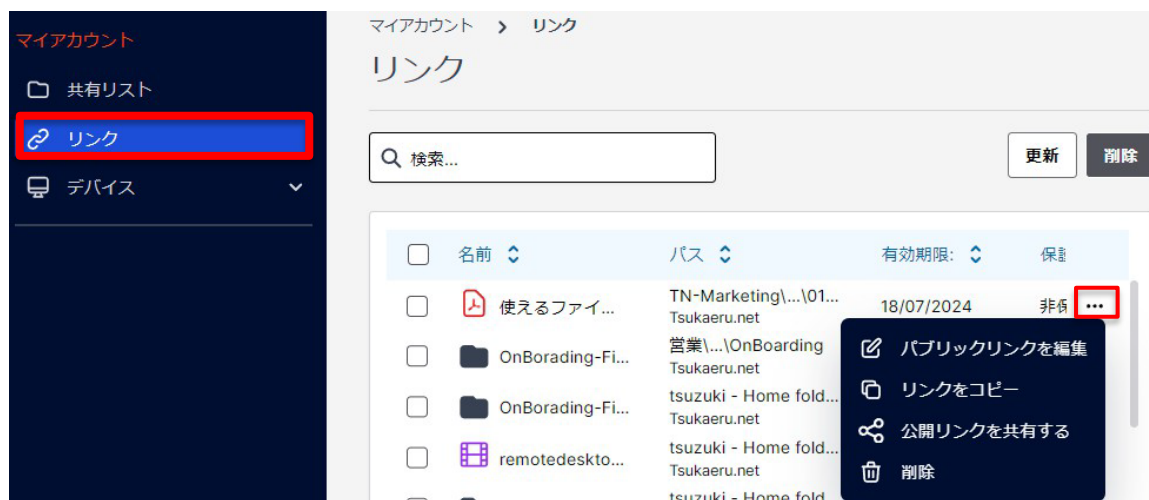
<Web 管理画面より作成>

Web 管理画面で「共有フォルダー」を選択、共有フォルダー内、共有したいフォルダー・ファイルを探し出し、そのフォルダー・ファイル名の右側「・・・」-「パブリックリンクを作成」をクリックします。設定項目はエクスプローラーの説明内容をご確認ください。



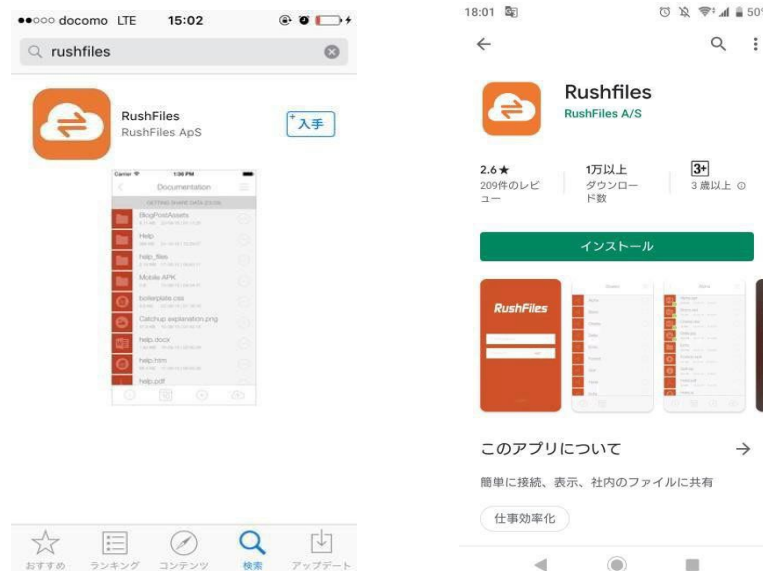
<パブリックリンクの管理>

Web 管理画面で作成済みパブリックリンクを管理することが可能です。パブリックリンクの再入手、パラメーターの再変更、パブリックリンクの削除が可能です。



8. モバイルアプリのインストール

お手持ちの携帯電話にABLENETストレージクライアントをインストールしましょう。iOS - Apple Store、または Android - Google Store を通して、"rushfiles"を検索してください。一般のアプリケーション同様にインストールを進め、起動後は適切なメールアドレス、パスワードを入力するだけです。



ログイン完了後、共有フォルダーのリストが表示されれば、セットアップ完了となります。

巻末：ABLENETストレージご利用時の注意点

ABLENETストレージをお手元の PC でご利用いただく上での注意点をご説明します。

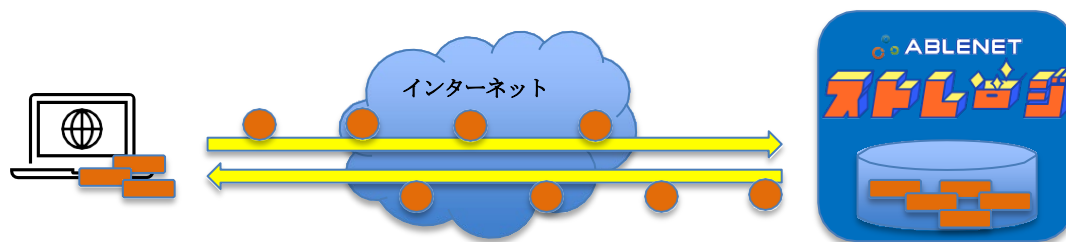
前提：

お客様 PC とABLENETストレージサービスサーバー間にはインターネットがあります。

お客様 PC において、まだ PC には格納されていない（キャッシュされていない）、[U:]ドライブ上にファイルが存在するように見えるファイルにアクセスすれば、ABLENETストレージサーバーは対象ファイルを分割して PC クライアントにデータ転送、クライアントは受信データをローカルディスクにコピーして、[U:]ドライブ上の一つのファイルとしてファイルを格納（キャッシュ）され、そして PC 上のプログラムから対象ファイルに対して操作できるようになります。

お客様 PC において、既に格納（キャッシュ）された、U:ドライブ上にファイルの存在が確認できるファイルを更新した場合、クライアントはローカルディスクに格納されたファイルを分割してサーバーにデータ転送、サーバーは受信データを組み立てて1ファイルとして格納します。

もし、分割されたデータの転送途中に考慮しない中断が発生する場合、ファイルが正しくクライアント側、もしくは、サーバー側に格納されない場合がありますのでご注意ください。もちろん、ABLENETストレージサービスは可能な限り、データ転送途中でも再度データ転送を開始するロジックを持ちます。



上記前提の元、次の点についてご考慮ください。

1. ファイルを、例えば、[C:]ドライブから [U:]ドライブに格納する場合、元のフォルダーから「切り取り」をせず、「コピー」によるファイルの格納を実施ください。ファイル格納失敗に至った場合、コピー元ファイルからの回復が容易になります。
2. 大量ファイル群をABLENETストレージサーバーに格納する場合、一括して[U:]ドライブに格納せず、分割して徐々に進めることをご検討ください。すべてファイル転送が無事終わったかどうかを確認するには、クライアントのセッションログやトーストメッセージを注意深くチェックしましょう。

